

ハマウツボ科

ハマウツボ

Orobanche coerulescens Stephan ex Willd.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… VU

■ 県内分布

西播磨、淡路

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州、琉球諸島

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態	○	分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

県内では3ヶ所に知られている。護岸工事などにより、生育環境の人為的破壊の危険度が高い。千種川の生育地では、地元小学校や町内会が保全に取り組んでいる。

■ 保護上の留意点

生育地である河川や海岸などの保全が重要である。



写真提供：小林禧樹

■ 種の概要

海岸や河原の草原に生え、ヨモギ属、特にカワラヨモギの根に寄生する一年草。茎は黄褐色で太く、直立して高さ10-25cmになる。鱗片葉は黄褐色、狭卵形または披針形で、先は膜質となってとがり、長さ1-1.5cm。5-7月、茎の上部に淡紫色の花を密につける。花軸、苞、萼、花冠には白い軟毛がやや密に生える。花冠は長さ約2cm。